



株式会社 インターゾーン

代表者 鏡山 健二
住 所 高崎市緑町2-1-12
T E L 027-387-0003
U R L <https://www.inter-zone.jp/>
従業員数 男性27人 女性102人

令和2年度
奨励賞

取組前の課題

- 育休復帰後の選択肢が育休前と同じ働き方のロールモデルしかなかった
- 男性社員が育児休業を取得できることが認知されていなかった
- 短時間勤務を希望するママの多くが正社員では採用されないと思っている
- 残業の常態化、有給休暇の取得率が低水準

取組内容

□ 育児・介護と仕事の両立

- ・ 令和2年7月より、フルリモートでの働き方が実現できるよう社内業務の棚卸を実施。リモート勤務でも責務を果たせるポジションを用意
- ・ 平成30年度男性社員の育児休業取得の事例を社内外のWEBサイトに掲載

□ 女性活躍の推進

- ・ 平成29年度から、非正規のポジションで入社された方に正社員化を推進

□ ワーク・ライフ・バランスの実現

- ・ 平成29年度から週1で全社員の残業時間を計測し全社へ公開。月の残業時間が20時間を超える見込みの社員には原因説明のため面談を実施。必要に応じ該当者の上司も招き解消するための施策を実施。
- ・ 期初に1年で消化する予定の有休取得日をすべて申請。

取組の成果

- ◎ 育休復帰後の社員がリモート勤務で復帰
- ◎ 昨年度は5名の非正規労働者を正社員化（うち4名が女性で2名が短時間勤務のママ）
- ◎ 平均残業時間を月18h→12hにすることを実現



今後の展望

多様な価値観がある中で制度にとらわれず従業員一人ひとりにあったキャリア開発を行っていきます。
また、短日勤務や短時間社員のロールモデルが増えてきたのでこのロールモデルの周知と、男性社員への普及に力を入れていきます。